

1 日常の学習状況・課題について

(1) 学習状況について

- ・発想・構想・創造的な表現・色彩感覚を豊かに学び、伸び伸びと取り組んでいる生徒が多い。
- ・美術への関心は比較的高く、しっかり取り組む生徒が多い。
- ・鑑賞の学習は、(プリントや教科書からの学びはできているが)定着できていない生徒がいる。

(2) 学習の課題について

- ①学習面・基本的な道具や用具、基礎基本の技術を習得させること。
 - ②指導面・実質的な作業時間を増やす工夫をすること。
- ・鑑賞は、作った作品を使い、友達の良い表現を見付け、多様な表現を認められるようにする。
 - ・興味や関心の弱い・集中力が続かない・苦手意識など、様々な理由で表現活動に取り組めない生徒に対し導入方法や支援方法を工夫すること。

2 改善の計画

- (1) 発想力を引き出すための手がかりとして、資料等の工夫をする。
- (2) 黒板に、授業のねらいや具体的な目標をその時間ごとに簡潔に示す。
- (3) 参考作品や参考図書をできるだけ多く用意し、美術室での展示も工夫することにより、生徒の意欲とイマジネーションを高める。
- (4) 作業進度の速い生徒に対する課題を用意する。作業進度の遅い生徒については可能な限り個別指導を行う。学びあいを有効に活用する。
- (5) 道具の準備・片付け、作品配布の方法を工夫し、それに費やす時間の短縮を図る。
- (6) 鑑賞と表現が連結した指導計画を工夫する。
- (7) 課題ごとに制作手順を明確に示し、個々の生徒が計画的に見通しをもった取組ができるようにする。
- (8) 鑑賞で友達の作品の良いところを発表していく。
- (9) 基礎知識を分かりやすく指導するためにビジュアルで解説するなどの工夫をする。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 作業の工程を細かく示し、技術面でのサポートを手厚く行うことで、表現の向上を図る。
- (2) 単元の前線で計画の時間・振り返りの時間を設け、自分の学習を見通せるようにする。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。